

基本政策Ⅷ 文化財の保護・活用と魅力ある博物館づくりを進める

政策 目標

「川崎市文化財保護活用計画」に基づき、国史跡橘樹官衙遺跡群をはじめとする文化財の保護・活用を推進します。

日本民家園及びかわさき宙と緑の科学館の博物館活動の充実により、各施設のさらなる魅力向上を図り、本市の魅力として発信します。

主な課題

- ①本市初の国史跡となった橘樹官衙遺跡群（千年伊勢山台遺跡〔橘樹郡家跡〕・影向寺遺跡）については、「国史跡橘樹官衙遺跡群保存活用計画」や「国史跡橘樹官衙遺跡群整備基本計画」に基づき、本市の貴重な宝として将来を見据えた整備を行い、整備完了後は歴史公園として全国にその魅力・価値を発信し、さらなる文化的発展につなげていく必要があります。また、文化財を市民共通の財産として次世代へ伝える取組を進めるため、自主的な文化財保護・活用に対する支援や子どもたちが文化財に触れる機会を確保し、体験的な学習の場面を創出することが求められています。
- ②日本民家園及びかわさき宙と緑の科学館では、新型コロナウイルス感染症の拡大等の影響により、来園・来館が困難な方やこれまで訪れる機会のなかった方等に向け生田緑地という本市を代表する地域資源を最大限に活かし、効果的な魅力発信を行うとともに、自宅で楽しみながら学べるコンテンツの提供やSNSなどを活用した広報を行う必要があります。

主な取組成果

- ①「川崎市文化財保存活用地域計画」に基づき各種の取組を推進するとともに、川崎市地域文化財については4月から6月に候補の募集を行い、34件を新たに決定しました。また、文化財の公開機会の創出として、指定文化財等現地特別公開を多摩区長尾の妙楽寺で3日間実施（関連講座と併せて650人）するとともに、中原区宮内の常楽寺で2日間の公開を補助（864人）し、計画的な指定・登録に向けた指定候補物件の調査を進めました。さらに、文化財ボランティアについては第3期ボランティア講座を実施（受講者23名）し、石造物調査や現地公開等での解説・会場整理等の活動を行ったほか、埋蔵文化財の発掘調査（早野上野原遺跡第9次調査ほか3件）を適切に実施しました。
- ②日本民家園では、夜間公開や伝統芸能公演などの各種行事を実施するとともに、体験学習プログラムの見直しを行いました。また、民家の保存整備について耐震補強工事等を計画どおり実施したほか、調査研究として民俗調査「暮らしと家」を刊行しました。かわさき宙と緑の科学館では、本庁舎のミュージアム+205において出張展示「オーロラ写真展」を開催し、天文・動植物に関する情報を展示やSNSで積極的に発信するとともに、6月にInstagramのアカウントを開設しました。また、プラネタリウム事業では字幕付き投影などの取組を実施したほか、生田緑地内施設の連携として日本民家園との「七夕」「お月見」事業や、岡本太郎美術館、市民館等との連携による館外事業を実施しました。

教育改革推進会議における意見内容

- ①橘樹官衙遺跡群は、歴史的価値は高いものの、子どもたちに分かりやすく伝える上で工夫の余地があるため、GIGA端末等で活用できるVR資料など、子どもがイメージしやすい教材があると良いと思います。
- ②文化財や博物館等について、学校教育と接続した学習コミュニティとしての役割を強化し、子どもたちが身近な歴史を体感できる教育環境整備や、個人利用を促す仕掛けがあると良いと思います。

今後の取組の方向性

- ①「川崎市文化財保存活用地域計画」に基づき、文化財の調査・保存・活用事業を推進し、計画的な指定・登録、地域文化財顕彰制度の周知に努めます。また、指定文化財の保存修理等の実施については、文化財の現状把握のため、計画的に保存状況調査を実施し、必要性に応じて修理方針を調整の上、適切な保存修理に繋がります。さらに、専門的な知識を有する文化財ボランティアの育成、確保に向け、文化財の活用や調査に係る事業を計画し、ボランティアの活動の場を確保します。
- ②日本民家園では、運営基本方針を踏まえ、教育普及活動や広報、生田緑地内施設との連携等を通じて、より魅力的な博物館づくりを進めます。また、文化財建造物の耐震補強や保存整備、計画的な施設補修を行い、文化財を適切に保存・活用していきます。青少年科学館では、SNSや広報誌を活用した積極的な広報を展開するとともに、展示の工夫や魅力あるプラネタリウム番組の制作により来館者の増加につなげます。また、自然・天文・科学の3分野に関するワークショップやボランティア育成、生田緑地内施設等との連携を推進します。

参考指標

指標名	指標の説明		実績値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標値(R7年度)
市内の指定・登録等の文化財及び「川崎市地域文化財顕彰制度」に基づく地域文化財の件数	従来の国・県・市の指定・登録の文化財件数に加え、「川崎市地域文化財顕彰制度」に基づいて顕彰した地域文化財の件数を追加 【出典：川崎市教育委員会調べ】		326件	382件	411件	438件	473件	470件 以上
			(R2(2020)年度)					
文化財ボランティアが参加した事業日数	文化財ボランティアが参加した文化財活用事業の延べ日数 【出典：川崎市教育委員会調べ】		7日	28日	35日	38日	39日	25日 以上
			(R1(2019)年度)					
橘樹官衙遺跡群関連事業への参加者数	橘樹官衙遺跡群の関連事業への参加者数 【出典：川崎市教育委員会調べ】		374人	496人	1,866人	3,801人	4,830人	400人 以上
			(R2(2020)年度)					
「日本民家園」「かわさき宙と緑の科学館」入園(館)者数	日本民家園の年間入園者数(入園料一般550円(～令和4年度500円)、中学生以下・市内65歳以上無料)及びかわさき宙と緑の科学館の年間入館者数(入館料無料) 【出典：川崎市教育委員会調べ】	民家園	68,267人	101,125人	115,373人	116,258人	114,443人	138,000人 以上
			(R2(2020)年度)					
		科学館	178,245人	249,649人	238,240人	245,195人	235,440人	291,000人 以上
			(R2(2020)年度)					
「日本民家園」「かわさき宙と緑の科学館」来園(館)者アンケート満足度	「良かった・満足した」と回答した来園(館)者の割合 【出典：川崎市教育委員会調べ】	民家園	94.0%	91.6%	88.8%	96.7%	98.7%	97.0% 以上
			(R2(2020)年度)					
		科学館	87.6%	82.0%	91.1%	96.5%	92.5%	90.0% 以上
			(R2(2020)年度)					